

米里産直の取組

(産直専門部)

出荷者数	79名	
取扱実績	平成21年度	11,988千円
	平成22年度	15,209千円
	平成23年度	18,290千円
	平成24年度	18,520千円
	平成25年度計画	20,000千円
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心が大前提・・・放射能対策 ・外販(岩谷堂2ヶ所・金ヶ崎・盛岡)の安定化 ・ふるさと宅急便の定着化 ・26年度は水沢に進出も 	

平成25年度開場式

25.6.8



米里産直・全体検討会

25.8.2



岩手県民会館の一日産直

25.12.18



米里産直の設置

閉鎖していた商店を活用



米里産直

販売室



農産物加工室



加エグループの結成



- ◇会員数／15名
- ◇活動は個人との両立
10班体制で活動
- ◇24年度の主な製品
 - ・おにぎり ・いなり
 - ・がんづき ・ケーキ
 - ・饅頭 ・漬物 ・ジャム
- ◇個人では
 - ・菓子類 ・パン ・梅干
 - ・ケーキ ・漬物

外販の様子

イオン金ヶ崎店産直館での餅つき



搬送車設置

米里産直に8人乗りワゴン車を設置



平成17年度団地会議

八幡団地会議



根岸団地会議



平成20年度団地会議

21.2.20・二股団地



水路清掃

19.9.2 / 下川原団地



水路清掃

19.4.1 / 下谷地団地



水路整備

22.12.5 / 二股団地



水路整備

21.4.14 / 砂子沢団地



道路整備・砂利敷

19.4.17 / 桑原団地



橋梁設置 学間沢団地



農地管理(耕作放棄防止対策) 21.7.5/下谷地団地



農地管理(畔塗り)

22.10.24／根岸団地



農地管理(耕作放棄防止対策)

22.6.24／下川原団地



周辺の刈払い 学間沢団地



刈払機購入 学間沢団地



花壇設置 木細工団地



春肥の共同購入 21.12.5 / JA米里営農センター



土壤診断事業の取組

岩手県施肥設計アドバイザーによる土壤診断測定



周辺の刈払い(河川清掃)

21.6.28 / 米里12行政区



ソバ栽培

25.9.5 / 八幡団地



種山高原そば試食会

25.11.3 / 木細工まつり会場



江刺清流米作り 江刺清流米研究会での検討



米里産直・夏季営業開場式 25.6.8／米里産直



米里農産物加工室設置

20.7.4



米里農産物加工グループ結成

20.7.4



米里産直・試食検討会

25.6.20・農産部加工グループ



平成18年度稚魚の放流事業

18.9.27・人首小学校



平成20年度稚魚の放流事業 20.7.8・人首小学校



平成22年度稚魚の放流事業 23.7.11・木細工小学校



平成25年度稚魚の放流事業

25.7.11・人首小学校



平成25年度稚魚の放流事業

25.7.11・木細工小学校



平成25年度全体研修会
26.2.2・花巻温泉「ホテル紅葉館」



米里産直・夏季検討会
25.8.5／米里産直特設会場



米里産直開設

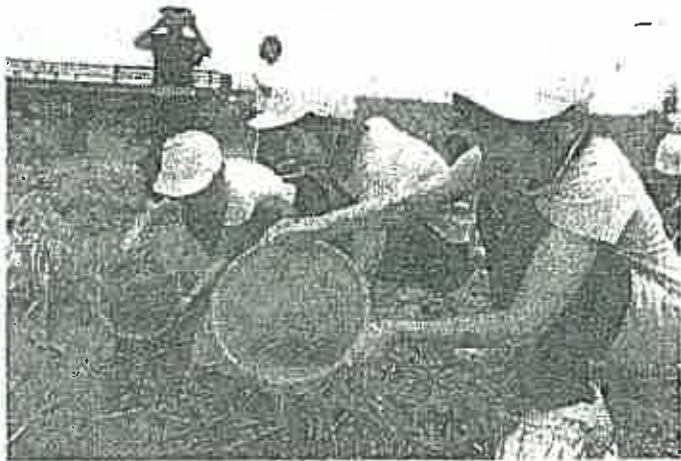
20.7.12／グランドオープン



人首川の清流化願う

地元児童がヤマメ稚魚放流

奥州・江刺



奥州市江刺区米里の市立人首小学校(阿部和也校長、児童52人)の3、4年生15人は6日、学校近くを流れる人首川にヤマメの稚魚500匹余りを放流した。児童は、稚魚が元気に育つよう願いを込めて送り出した。稚魚の放流は、米里地区の農業者らで組織する鴨瀬振興組合(千田武宏組合長、組合員283人)が、地元の人首小と木細工小の児童を対象に、川の環境を学ぶ機会として企画。

「水辺の教室」と銘打ち、農地や農業用水などの環境資源を地域ぐるみで保全しようと、胆江河川漁協と遠野市淡水魚生産組合の協力で、2007年度から実施している。

同日は、前日の降雨で若干水増が増した人首川の荒町橋付近で、体長10センチの稚魚を放流。同校3年の齋藤悠梨さん(9)は「稚魚は、目が

くくりくりしていてかわいかった。きれいな川で元気に育ってほしい」と話していた。千田組合長は「こみを

岩手日々新聞
平成24年7月7日付

捨てないようにきれいな川にして、いっぱいお魚がすめるようにしたい」と児童に呼び掛け、放流を遊んで河川環境への理解や環境保全の意識が高まることを願った。

米里産直が夏季営業開始

自慢の品そろえでにぎわい・江刺奥州市江刺区米里字立石の「米里産直」で7日、2014年の夏季営業が始まった。本格営業を祝って同日は特製の「朴の葉ふかし(ご飯)」などを来店者に振る舞い、出荷者と住民でにぎわいを見せた。



営業初日の同日は、浅野組合長が米里産直の開始を宣言しリンゴジュースで乾杯。本格営業を祝って来店客に特製のおにぎりを先着100人にプレゼントしたほか、米里地区に伝わる郷土食の朴の葉ふかしを振る舞った。店内はハクサイやネギにも出荷している。浅野組合長は「安心、安全の農産物を販売して来店客を迎えたい。野菜などはこれから増えるので活性化を期待したい」と話している。同産直は夏季の6月から12月までは午前9時から午後5時まで毎日営業している。毎年12月から6月までの冬季は午前のみとなる。

同産直は、鴨瀬振興組合(浅野脚夫組合長、会員284人)が主要地方道水沢米里線沿いの空き店舗を活用して08年にオープン。会員79人が出品登録し、同産直で旬の野菜や果物、菓子やジュースなどの加工品を販売している。金ヶ崎町、盛岡市のスーパー内産直など

岩手日々新聞
平成26年6月10日付

夏季営業を開始した米里産直で新鮮野菜などを買い求める来店客。などの新鮮野菜、イチゴ、花魁のほか、まんじゅうやふかしパンといった自慢の加工品が並び、来店客が買い求めている。

地域活性化を目指して

鳴瀬振興組合9ヶ年の歩み

(平成26年3月31日)

目 標

- 平成17年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、農地保全を図りながら地域活性化を目指し集落を統合し活動します。
 - ① 米甲地区は山間地域で人口が激減しており、この制度により農地の保全と地域振興を図ります。
人口 昭和30年2月10日4,533人 ⇒ 平成2年9月2,441人 ⇒ 平成26年1月1,549人
 - ② 平成17年3月に中山間地域等直接支払制度協議会米里支部代表者会議で、弱小な取組から脱却するため、統合による取組を確認し、平成17年4月1日付けで統合し活動を開始。
平成17年・13団地 ⇒ 18年・15団地 ⇒ 19年・16団地 ⇒ 22年・18団地 ⇒ 23年・19団地
- 統合による事業対象の状況
 - ◇ 対象面積 1,671,397 m²
 - ◇ 会員数 283名・・・正会員 242名、賛助会員 41名
- 中山間地域等直接支払制度等を活用し、水路農道等の管理活動や周辺の刈払い等を通じ、耕作放棄地の防止活動を実施し、新規作物の導入、産直加工施設の設置、担い手の育成等により、将来に向けた農業生産活動等の推進を実践します。

第1年度（平成17年度）

年月日	事 項
平成17年3月25日	米里地区統合代表者会議開催（統合を申し合わせ）
平成17年3月31日	江刺市長に仮申請書提出
平成17年6月9日	鳴瀬振興組合設立総会（4月1日付けで設立を決定）
平成17年7月31日	集落協定の認定申請書提出（提出先＝江刺市長）
平成17年8月2日	鳴瀬振興組合がJ/A江刺市へ加入
平成17年9月12日	江刺市長より集落協定認定書が交付
平成18年1月18日	コイン精米所設置／運営開始
平成18年1月31日	中山間地域等直接支払制度協議会米里支部設立総会（浅野組合長が支部長に就任）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 13団地が統合し発足（対象面積1,296,976 m²、規模拡大加算 9,154 m²） ◇ 集落協定認定書交付 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（3回） ◇ コイン精米所設置／運営開始 ◇ 担い手専門部準備会及び産直専門部準備会発足

第2年度（平成18年度）

年月日	事項
平成18年4月30日	第1回通常総会開催
平成18年5月8日	タラの芽種根配布開始
平成18年7月26日	鳴瀬営農組合設立総会（鳴瀬振興組合担い手専門部）
平成18年7月3-4日	役員研修会（広瀬・宮城方面）
平成18年9月1日	集落型経営体認定書が交付（江刺水田農業推進協議会より認定）
平成19年2月18日	全体研修会開催（花巻市・ホテル志戸平）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 2団地統合で15団地に（対象面積1,484,362㎡、規模拡大加算10,748㎡） ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（1回） ◇ 新規作物の導入（タラの芽）開始 ◇ 水路道路補修、バス停設置等の実施を開始
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 鳴瀬営農組合発足（鳴瀬振興組合担い手専門部） 5班体制/会員数188名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種助成事業の実施（担い手加算/1,785.0a、担い手集積/8,392.5a他） ・ 主要資材の取り扱い（種子、水稲苗、春肥、水稲農薬 他） ・ 集落型経営体の認定を受ける

第3年度（平成19年度）

年月日	事項
平成19年4月29日	第2回通常総会開催
平成19年9月11日	稚魚の放流（木細工小学校）、9月27日（人首小学校）
平成19年9月29日	米里産直発足（鳴瀬振興組合産直専門部）発足、米里産直試行開設
平成19年11月11-12日	役員研修会（田原・秋田方面）
平成20年2月16日	全体研修会開催（花巻市・ホテル志戸平）/75名
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 1団地統合で16団地に（対象面積1,565,813㎡、規模拡大加算12,770㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 230名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員217名、2号会員13名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（3回） ◇ 稚魚の放流開始（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）5班体制/会員数194名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売5,941袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（担い手加算/1,627.0a 他） ・ 主要資材の取り扱い（種子、水稲苗、春肥、水稲農薬 他） ◇ 米里産直発足（鳴瀬振興組合産直専門部） 運営委員4名/出荷者55名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 試行開設（平成19年9月29日）

第4年度（平成20年度）

年月日	事項
平成20年4月27日	第3回通常総会開催
平成20年7月12日	米里産直ランドオープン
平成21年2月15日	全体研修会開催（宮城県/だてもん市場・ホテル樹亭）/76名
平成21年3月14日	消費地交流を実施（東京首都圏鳴瀬会参加/3名・横浜市）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 16団地体制で実施（対象面積1,565,813㎡、規模拡大加算12,770㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 255名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員217名、2号会員38名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（3回） ◇ 稚魚の放流（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）5班体制/会員数194名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売 5,853袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（担い手加算/1,923.5a他）、主要資材の取り扱い ・ 江刺水稲総合生産コンクールで「優良賞」を受賞 ◇ 米里産直の活動（鳴瀬振興組合産直専門部） 運営委員4名/出荷者60名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米里産直ランドオープン、ふるさと宅急便開始、農産物加工グループ結成 ・ 米里産直だより発行開始、取扱実績/6,940,825円

第5年度（平成21年度）

年月日	事項
平成21年4月26日	第4回通常総会開催
平成21年5月3日	イオン金ヶ崎店産直館出品開始、6月19日街なか産直川楽市場出品開始
平成21年10月1日	クロステラス盛岡店産直館出品開始
平成21年11月15-16日	役員研修会開催（山形方面）
平成21年12月22日	えさし中山間大賞受賞
平成22年2月20日	消費地交流を実施（東京首都圏鳴瀬会参加/3名・東京都）
平成22年2月27日	えさし中山間大賞受賞祝賀会開催（兼：全体研修会開催/ホテルニュー江刺）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 16団地体制で実施（対象面積1,565,813㎡、規模拡大加算12,770㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 255名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員217名、2号会員38名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（2回）、◇ 稚魚の放流（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）5班体制/会員数194名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売5,946袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（担い手加算/1,994.8a他）、主要資材の取り扱い ◇ 米里産直の活動（鳴瀬振興組合産直専門部） 運営委員5名/出荷者63名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱実績/11,988,431円

第6年度（平成22年度）

年月日	事項
平成22年5月8日	第5回通常総会開催
平成22年7月19日	臨時総会開催（第3期中山間実施決定、組織改編/農地サポート班設置他）
平成22年9月3日	コイン精米機新装オープン
平成22年9月6日	ホームページ開設
平成22年12月15日	岩手県農業賞受賞（岩手県中山間地域モデル賞）
平成23年2月5日	岩手県農業賞受賞祝賀会開催（兼：全体研修会開催/ホテルニュー江刺）
平成23年2月18日	消費地交流を実施（東京首都圏鳴瀬会参加/4名・東京都）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 2団地統合し18団地体制で実施（対象面積1,601,759㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 276名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員235名、2号会員41名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（2回）、◇ 稚魚の放流（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）4班体制/会員数197名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売5,758袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（モデル対策交付/2,147.2a他）、主要資材の取り扱い ◇ 米里産直の活動（鳴瀬振興組合産直専門部） 運営委員5名/出荷者65名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱実績/15,209,817円

第7年度（平成23年度）

年月日	事項
平成23年5月7日	第6回通常総会開催
平成23年7月5日	ふるさと宅急便「My産直」/取り扱い開始、米里産直通信発行開始
平成23年11月13-14日	役員研修会開催（青森県方面）
平成23年12月19日	江刺清流米研究会発足
平成24年2月4日	全体研修会開催/花巻市・ホテル千秋閣/77名
平成24年2月10日	消費地交流を実施（東京首都圏鳴瀬会参加/4名・東京都）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 1団地統合し19団地体制で実施（対象面積1,671,397㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 283名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員242名、2号会員41名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（2回）、◇ 稚魚の放流（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）4班体制/会員数226名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売5,542袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（戸別補償対策交付/2,411.8a他）、主要資材の取り扱い ・ 土壌診断事業開始 ◇ 米里産直の活動（鳴瀬振興組合産直専門部） 運営委員5名/出荷者74名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱実績/18,500,058円

第8年度（平成24年度）

年月日	事項
平成24年5月2日	第7回通常総会開催
平成24年6月2日	米里産直全体研修会開催/36名
平成24年8月1日	産直南大通りオープン/出品開始
平成24年11月11-12日	役員研修会開催（福島県方面）
平成23年12月19日	江刺清流米販売会発足
平成24年12月19日	米里産直5周年祝賀会、兼全体検討会開催
平成25年1月24日	農水省現地調査
平成25年2月3日	全体研修会開催/花巻市・ホテル千秋閣/84名
平成25年2月17日	消費地交流を実施（東京首都圏鳴瀬会参加/7名・東京都）
平成24年2月23日	奥州市江刺区教育振興会連合会表彰
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 19団地体制で実施（対象面積1,671,397㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 284名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員243名、2号会員41名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（2回）、◇ 稚魚の放流（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）4班体制/会員数226名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売6,142袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（戸別補償対策交付/2,411.7a他）、主要資材の取り扱い ・ 牧草地再生対策の実施/2,350.0a（放射能除染対策） ◇ 米里産直の活動（鳴瀬振興組合産直専門部）運営委員5名/出荷者78名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱実績/18,520,467円

第9年度（平成25年度）

年月日	事項
平成25年4月29日	第8回通常総会開催
平成25年5月28日	米里産直全体研修会開催/36名
平成25年8月14日	米里産直交流会/約90名
平成25年11月3日	種山高原そば試食会/木細工祭協賛
平成25年11月10-11日	役員研修会開催（新潟県方面）
平成26年2月2日	全体研修会開催/花巻市・ホテル紅葉館/85名
平成26年2月16日	消費地交流を実施（東京首都圏鳴瀬会参加/4名・東京都）
平成26年3月6日	役員研修会開催（江刺ささらホール）
主な取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 19団地体制で実施（対象面積1,671,397㎡） <ul style="list-style-type: none"> ・ 284名（鳴瀬振興組合会員）・・・1号会員243名、2号会員41名 ◇ 鳴瀬振興組合だより発行（2回）、◇ 稚魚の放流（人首小学校、木細工小学校） ◇ 鳴瀬営農組合の活動（鳴瀬振興組合担い手専門部）4班体制/会員数226名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀販売4,582袋/30袋（出荷先：JA岩手江刺） ・ 各種助成事業の実施（経営所得安定対策交付/2,509.9a他）、主要資材の取り扱い ・ 奥州市円滑化事業の実施/2,350.0a（放射能除染対策） ◇ 米里産直の活動（鳴瀬振興組合産直専門部）運営委員5名/出荷者79名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱実績/20,426,932円

元気を出そう!

人口の減少
 地域は、人口がどんどん減っていきまじは、町を良くし、昔の人口と、今の人口の差がとて大きいことばかりあります。
 そのための農地の管理がむずかしくなり、おんどの花屋も失われつつあります。鳴瀬振興会では、米里地域を活性化し元気にするため組合を二つ作りました。そして、今米里地域

米里産直
 は、二の鳴瀬振興会の活動で、お土産を、元気にするよに、がんばっています。
 二つとして、米里産直は、米里地域を活性化し元気にするために作られた販売所です。
 二の米里産直の主な活動は、二つあります。一つ目は、米里産直の運営です。二つ目は、他の産直への出荷です。
 二の米里産直においてある商品は、野菜、くだもの、花の苗などがあります。商品の値段は、作、た人が

米里産直
 は、二の鳴瀬振興会の活動で、お土産を、元気にするよに、がんばっています。
 二つとして、米里産直は、米里地域を活性化し元気にするために作られた販売所です。
 二の米里産直の主な活動は、二つあります。一つ目は、米里産直の運営です。二つ目は、他の産直への出荷です。
 二の米里産直においてある商品は、野菜、くだもの、花の苗などがあります。商品の値段は、作、た人が

米里産直
 は、二の鳴瀬振興会の活動で、お土産を、元気にするよに、がんばっています。
 二つとして、米里産直は、米里地域を活性化し元気にするために作られた販売所です。
 二の米里産直の主な活動は、二つあります。一つ目は、米里産直の運営です。二つ目は、他の産直への出荷です。
 二の米里産直においてある商品は、野菜、くだもの、花の苗などがあります。商品の値段は、作、た人が

人口減少振興会

人口減少に負けるな
 鳴瀬振興会、会長、副会長、事務局長の三人が二の会の運営をしています。
 鳴瀬振興会の主な活動は、三つあります。一つ目は、農地の保全と利用調整です。二つ目は、農具機械、施設の共同設置、共同利用です。三つ目は、地域農業振興という、活動を行います。

鳴瀬振興会の活動は
 新節で、そうおこなわれるようになりました。
 鳴瀬振興会の活動は、新節で、そうおこなわれるようになりました。

鳴瀬振興組合
 の会員数は二百八十四人でその中にはおまの家族、おまの家族もいます。そして、みんなが元気になるように色々な活動をしています。

鳴瀬振興組合
 の会員数は二百八十四人でその中にはおまの家族、おまの家族もいます。そして、みんなが元気になるように色々な活動をしています。

鳴瀬振興会